

平成30年度 足立区防災会議 《会議録要旨》

《日時》

平成31年3月14日（木）10：30～11：30

《場所》

足立区役所本庁舎中央館8階災害対策本部室（特別会議室）

《出席者》

・足立区防災会議委員66名中、52名出席

《会議内容》

- 1 開会（司会：防災力強化担当課長）
- 2 会長挨拶（足立区長）
- 3 議事（進行：足立区長）

内容等

<p><b>【議事】</b> 「足立区地域防災計画（平成31年度修正（案）」について</p> <p><b>【質疑】</b></p>	<p><b>【危機管理部長】</b> 「足立区地域防災計画（平成31年度修正（案）」について、主な修正事項を説明。</p> <p><b>【針谷委員】</b> 防災計画修正案へ提案。P597 放射性物質対策について、現在の区の取り組みとしてホームページに除染箇所をわかりやすく表示をしており大変良い。また、基準値を超えているとの区民からの通報により再測定等もしていただいております。</p> <p>文部科学省が小中高校生向けに作成した放射線副読本の「空間線量を測定してみよう」の取り組みから、新年度の予算も付けていただき、測定機器も10台貸し出すことになっていると思うが、放射能の危険性など様々な問題を伝えるということはとても良いことである。</p> <p>そこで一つ確認だが、測定機器10台で全ての学校に1年間で貸し出しを行うことは可能か。</p> <p><b>【教育指導部長】</b> 1年間で全ての学校に測定機器の貸し出しを行うことは可能と考えている。こちらから学校に対して声掛けも行っていきたい。</p>
---	---

<p>【議事】 「地区防災計画について」</p> <p>「江東５区大規模水 害広域避難計画等 について」</p> <p>「災害廃棄物処理等 について」</p>	<p>【針谷委員】 ここからは提案だが、東日本大震災、原発事故を受けた足立区の放射能対策は若干整合性が取れていない部分や不十分なところがある。区議会にも陳情が出されており、放射能に関する健康診断希望者への助成、区民への測定機器の貸し出し、学校給食等の食材の安全確保のための食材検査について、防災計画もしくは区の方針に取り入れていって欲しいと考えている。</p> <p>【危機管理部長】 「平成３０年度 地区防災計画（案）」について説明及び地区防災計画作成町会・自治会長の紹介。</p> <p>【防災会議会長（足立区長）】 地区防災計画については、地域危険度の高い町会・自治会を中心に検討していただいている。 町会・自治会だけでなく、孤立ゼロプロジェクトや警察・消防などさまざまな団体の協力が必要となる。連携体制やネットワークの構築を検討していく。 「足立区地域防災計画（平成３１年度修正（案）」及び「平成３０年度 地区防災計画（案）」について異議なしということで承認させていただく。 続いて、江東５区大規模水害広域避難計画について。</p> <p>【危機管理部長】 江東５区洪水ハザードマップ及び江東５区広域避難推進協議会の取り組みについて説明。</p> <p>【防災会議会長（足立区長）】 続いて、足立区独自の洪水ハザードマップについて。</p> <p>【都市建設部長】 足立区洪水ハザードマップについて説明。</p> <p>【防災会議会長（足立区長）】 次に、災害により生じた災害廃棄物の処理について。</p> <p>【環境部長】 災害廃棄物処理計画について説明。</p>
---	--

**【質疑】**

**【米山委員】**

水害時の広域避難について、江東5区で取りまとめている72時間あたり500～600ミリの雨というのは想定ではなく、すでに実際に西日本で発生した現実的なもの。その中で綾瀬警察署が行っている垂直避難先の確保に向けたクイック避難の取り組みについて、今後足立区内でどのように広げていく予定か。

**【綾瀬警察署】**

現在区と協力し、区内4警察署で取り組みを広げている。また垂直避難時の飲料水、食料、ブランケットなどを配備する覚書の取り交わしも行った。

昨年7月の西日本集中豪雨では、岡山県真備町等の河川氾濫の被害でハザードマップがしっかり機能した。垂直避難について町会さんと話をしていたところ、町会単位で各マンションに垂直避難に関する賛同を得ることは困難ということで、綾瀬警察が動き出させていただき、5階建て以上のマンションに対し、出水期までに賛同を得られるかご意見を伺った。結果的に154のマンションから賛同を得ることが出来た。まもなく警視庁ホームページにクイック待避建物などを掲載し、チラシ等の配布も行っていく予定。

**【防災会議会長（足立区長）】**

千住地域や新田地域など、高層建物が多い地域を中心にクイック待避建物の確保を始めていきたいとの賛同の意見を頂いている。

**【渡辺委員】**

地震発生時、北千住駅周辺の混乱が想定される。区では北千住駅周辺の関係機関と駅前滞留者対策に関する会議体を持っているが、地震発生時の駅前滞留者の誘導等の方針について定めている北千住ルールを更にブラッシュアップして頂きたい。避難所等についてはスフィア基準を基に考える必要がある。マンホールトイレについては、女性用トイレには物を置けるような棚の設置や乳幼児が待機できるような場所の設置など思いやりを持った対応を希望する。

また、防災ナビアプリでハザードマップが確認できるという話があったが、次第などにも書き込んで、防災会議に参加していただいている方々から普及啓発をして頂きたい。

**【防災会議会長（足立区長）】**

防災ナビアプリの件については、今後検討し反映させていただく。

**【災害対策課長】**

北千住駅前及び綾瀬駅等の駅前滞留者対策の取り組みについて報告。北千住ルール等のブラッシュアップについては、各関係機関と協議の上、随時行っていく。

**【横溝委員（足立消防団長）】**

避難所への自家用車の乗り入れ可否の判断等はどのようにしていけば良いか。ペットを飼っている方々が避難所へ入れないからと路上に車を停めるため、緊急車両の通行の妨げになるというケースもある。区で対策や方針について検討して欲しい。

**【防災会議会長（足立区長）】**

避難所におけるペットの置き場所については、区は原則、同行避難を呼びかけており、ルールは避難所ごとに定めていただくこととなるが、具体的な話は進んでいないという現実もあるように思う。今後さらに検討していく。

**【危機管理部長】**

原則、避難所校庭への自家用車の乗り入れ、車中泊はお断りしているのが現状である。

**【防災会議会長（足立区長）】**

避難所校庭への車両の乗り入れを禁止することにより、路上に無秩序に駐車された場合、緊急車両が通行するための道路の確保ができない等の問題も発生する。避難所への自家用車の乗り入れについては、課題として受け止め、今後も引き続き検討させていただく。